



あじさい通信

11月号

可能性は∞無限大

11月3日
学校公開日
2年生：あじさい
大学・企業調べの発表
の様子



11月3日は学校公開日で2年生のあじさいでは上級学校（大学・短大・専門学校）と企業を調べをしたポスターを発表しました。ラクビーの決勝戦のため、何人かは参加できませんでしたが、自分の興味のある企業や分野について元気に発表している姿が見られました。

また、放課後は2年生の進学対象者と保護者に向けて、奨学金セミナーを開きました。たくさんの生徒と保護者が参加しました。3年生の5月には奨学金を受けるための準備が必要ということや第1種奨学金と第2種奨学金の違い、保護者と生徒の進路に関わる話し合いが大切などわかりやすい講演会でした。

参加した生徒の感想

○大学と短大専門学校は全く違うため、選んで後悔した人が何人もいますので、選択は一度よく考え、じっくりと決めないとNGだと初めて知りました。理想と現実とはまるっきり違うので、理想にとらわれてはダメです。入学するには合格するだけではなく、期間中（入学するまでの高校生活中）に入学金を出さないと入学できないのでそのことも親にくわしく話したいです。

(21H)



○人間は自分が見たいと思う物しか目に見えないと聞き、そうだなと思いました。だったら自分のしたい仕事ができるために、今がんばらなくてはと思いました。進学や奨学金をもらうにしても今の勉強の努力や生活態度が大切です。私は奨学金を使って、大学に行きたいと思っているので、そのためにも今、勉強をがんばらなくてはいけないと思いました。今日聞いたことをちゃんと父親に伝えよう、と思いました。

(21H)

○奨学金はお金を借りるものであり、返さなければならないことがわかった。また、受験をする際にお金を出すのは自分の親だけ、奨学金でかけたお金を返すのは自分自身だとわかった。奨学金の種類は4つあり、自分で選べる。奨学金は高校3年生の春に申し込まなければならないので、まだまだ自分にとって関係ないと思っていたけど、あと半年くらいなので知っておかなければならないと思った。お金をしっかり稼げる職業につきたいと思った。(21H)

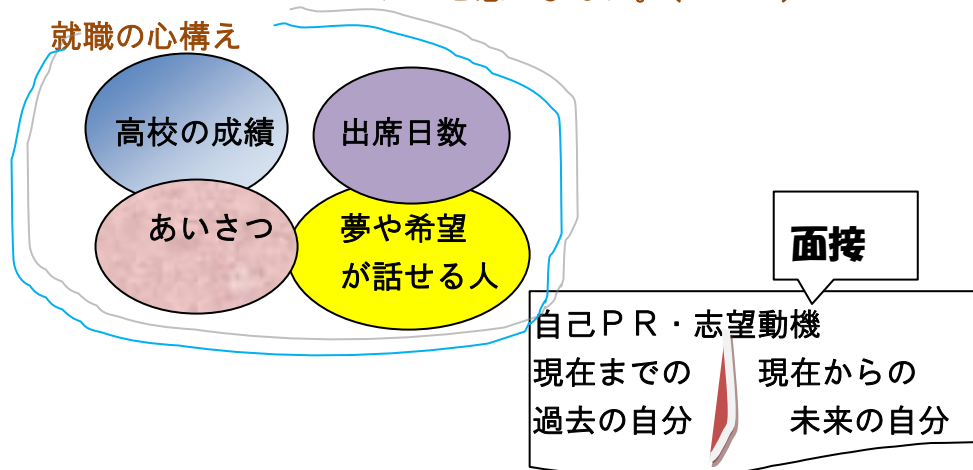
○周りに影響されずに、自分の行きたいところへ行くこと。専門学校はなりたい職業が決まっていってそのうえで専門学校で学ぶためにあることがわかった。4年制でしかできない仕事は医師、薬剤師、教師がある。大卒しか採用しない会社がある。専門学校の授業は実習が多く、大学と違って、びっしりとあることがびっくりした。奨学金とはお金を借りること。結果返金しなければいけない。利息負担の少ない、第一奨学金に申請したいと思った。(23H)

○私は文化服装学院に行きたいと思っています。理由は主に「服にかかわって仕事をしていきたい」からです。けれど、正直「これになりたい」など確定する夢はないので、高校卒業する前に必ず決め、専門学校を続けられるようにしたいと思いました。高校生(大学生)に求めることは「意欲・態度・責任感」などでした。普通の授業で得られることだと思うので、もっと授業に集中していきたいと思いました。自己PRと志望動機を言えるように見つけ考えたい。(22H)

○短大に進んだ方が自分に合っていると考えていたけど、時間割の話聞いた時もう少し考えてみようと思った。奨学金制度についても全然知らなくて今回聞いて良かったと思うし親とも話し合いたいと思った。短大専門学校はなんとなく入るととやめてしまう可能性があるというところと真剣に決めたいと思った。(23H)

～生徒のメモより～

○今日の講演を聞いて将来についてももっとしっかり考えないといけないと思いました。親ともしっかり話して、学校を見にいってみたいと思いました。(22H)



★第2回家庭学習状況調査の結果★

10月22日～28日まで1・2年生は校外模試もあることから家庭学習状況調査を行いました。平均学習時間は1年生・・・26分、2年生・・・26分、3年生・・・88分でした。3年生の受験が近い生徒は**317分**も学習していました。今月も期末考査前の調査があります。10月の記録以上にしていきましょう。

本番を迎える生徒が多い31Hの志望動機の練習風景

